下 (ppt)

8種類の同時測定に対応

新開発の臭気センサー

(第三種郵便物認可)

同技術はシリコンウエハ ング」(SD) のデモンス トレーションを行った。

一里まることこといろいこ

盛。かつては溶剤での洗こりのカニ青星も用

中

対策が課題だったが、い

浄処理が必須で環境汚染

セ

工日 本電 業波 研究・医療向け提案

索を始めている。

同社は 「NAPiCO

センサー」を活用。最大 臭気センサーシステムの 子を補足する「ガス匂い 混合気体中の特定成分分 製品化を進める。独自の 日本電波工業は、新規 品化を図る。 ている。用途探索や共同 見などへの応用を想定し 研究などを進め早期の製 質分析による疾患早期発 発、環境測定、呼気中物

でき、濃度1兆分の1以 も分析可能。医薬・食品 などの成分解析や研究開 の微細成分 一などと組み合わせ、装置 システムは独自センサ 乾燥管や恒温チャンバー を8チャンネルで使用。 としてシス

の検出機能 イズでpp はなく、化 を持つ装置 セレベルで

分の1以下の微細成分も分析可能臭気センサーシステムは濃度1兆 学合成など 研究開発向 成分分析や に付随する

けに市場探

れにより車の動きやドラ 道路に描く自動車向け 車の動きを伝える図形を 開発したと発表した。こ 一路面ライティング」を 三菱電機は23日、光で

外を含めた法規およびこ り視認性を高め、事故を ダイオード (LED) や またアニメーションによ 分かりやすく投影する。 レーザーなどを検討。海 未然に防ぐ。光源は発光 イバーの意志を大きく

20年度以降の事業化を メーカーへの訴求を強め 目指すとともに、自動車 自動車の安全性向上の

ユニケーションを促進す る分野の需要が高まって

ため、車と周囲とのコミ

いる。その最たるものが

市場規模は2013年の 自動車の照明関連市場。 ーズを継続調査し、20 光 で描 去

テム化し

た。卓上サ

S」プランドで発振法(Q一は液体や気体内の分子を | サーを展開する。 発振法 CM) によるバイオセン 三菱電機路面ライティング技術 る選択膜の種類拡大・用 波数の変化で検出する手 単位の微少物質を精密に 法で、ナノーピコグラム 途開拓を進める。 業などとの共同開発によ ンサーはその一環で、企 計測できる。ガス匂いセ 量の微少な増加を振動周 医療向けでは、北九州

選択的に吸着捕捉し、質 一考え。 化学医療・ヘルスケア機 どへの応用展開も行い、 | る。他の疾病早期発見な 定への検討を進めてい 検出するととで、呼気測 気アンモニア濃度上昇を が進行。肝硬変患者の呼 市立大の李丞祐教授と疾 器としても実用化したい 病診断に向けた共同研究 をはじめとする新たなパ 研究を推進し、実用化を 体表面検査技術との共同 る。装置メーカーや半導 ワー半導体にも適用でき た炭化ケイ素(SiC) の計測ができ、欠陥計測 開発した。高速・高精度

手法が確立していなかっ

滑化して く削り、

にスクラ

陥の非接触光検出技術を

ている。

る際、其

ーを用いた半導体表面欠

査技術の

別化が迫られている。 ロニクス業界は一段の差 究院機械工学部門の林照 剛准教授らの研究グルー プは、フェムト秒レーザ

一の需要

が、新

めの高端

られない。台湾エレクト

盛況内湾だが

るだいに競与獲什に退じ

九州大学大学院工学研

事故防止的 り複雑な情報伝達が可能 用。ブレーキランプ、 クターなどの技術を応 の前後左右に搭載し、よ なLEDなどの光源を重 ラ総研調べ)。小型で安価 になってきている。 サードランプやウィンカ

ど、安全運

イバーにゆ

祭知すること

れ、急ブレー

路面ライテ

に伝える

同技術では、プロジェ

り、車の動き すいライテ さらに、大き

1

の意志や車の動きを

て周囲

は1・6倍の1兆217 7592億円から22年に

1億円まで拡大すると予

も車の動きが

ィングによっ

となって

体と比べ

Si

の欠陥論

影響をな な傷が残

一の顔が見る

想されている(富士キメ

でき、

、周囲の

の安全性を回

立ちを低減-

の動きやドライバーの意 路へ光で描くことで、車 志を大きく分かりやすく や前進・後退する際に道 ーだけでなく、ドア開け 制御系の国際 ニットの開発 御可能なコン 同社は、

また、路面へのライテ

レクトロニクス

(7)